

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名		農地整備事業 [経営体育成基盤整備事業(国補)]		事業箇所	南巨摩郡富士川町小室～鯉沢	地区名	ゆずの郷	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画	④特記事項(関連事業概要等) ・なし					
	H29～R3	H29～R8	H29～R12						
総事業費	900 百万円	1,330 百万円	2,090 百万円	⑤これまでの評価状況(令和3年度再評価) 本事業は、農業生産基盤を整備することで、担い手への農地集積や農業生産力の向上による地域農業の発展を目的とし、地域特産物の生産拡大と農産物の6次産業化など地域農業の活性化を図る上で継続が妥当である。					
(1) 事業の概要									
①事業目的及び効果				(2) 事業位置図等					
本地区は、甲府盆地の南西に位置する山間地域であり、山地特有の気象条件を活かしたゆずの栽培と水稻が盛んな地域である。 しかし、小區画で不整形な農地や未整備の水路、狭小な道路が多く、耕作放棄地の増加や担い手不足が懸念されている。 一方、地域では農業者が設立した日出づる里活性化組合が、特産のゆずや地域農産物を活用した6次産業化を積極的に進めており、製品開発から製造、加工、販売までの体制が構築され販路も拡大している。 このことから、区画整理や農道等の基盤整備を一体的に行い、農作業の効率化や農産物の安定生産を図ることで、さらなる6次産業化の推進による農業者の所得向上や継続的な地域農業の発展と地域振興を図るものである。 □主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得増加額 3,049千円≧2,429千円※ (※評価基準値) □副次目標 ○農業用排水能力の向上 □副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全									
②事業概要									
		現計画	変更計画						
	用排水路	L=1,240m	→ L=869m						
	農道	L=3,507m	→ L=2,969m						
	区画整理	A=6.9ha	→ A=7.5ha						
	鳥獣害防止施設	L=3,500m	→ L=3,500m						
③全体計画									
		令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降					
現計画	工事内容	用排水路 L=742m 農道 L=2,167m 区画整理 A=1.7ha 鳥獣害防止施設 L=579m	区画整理 A=2.5ha 農道 L=200m	用排水路 L=498m 農道 L=1,140m 区画整理 A=2.7ha 鳥獣害防止施設 L=2,921m					
		事業費	1,285 百万円	110 百万円	141 百万円				
変更計画	工事内容	用排水路 L=742m 農道 L=2,167m 区画整理 A=1.7ha 鳥獣害防止施設 L=579m	区画整理 A=1.9ha 農道 L=178m	用排水路 L=127m 農道 L=624m 区画整理 A=3.9ha 鳥獣害防止施設 L=2,921m					
		事業費	1,285 百万円	110 百万円	695 百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

地理院地図(国土地理院)を加工して作成

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

用排水路、農道、区画整理等の未着手路線については、早期の整備が求められている。

②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

・やまなし農業基本計画（令和6年1月策定）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点	再評価時点	変更計画時点
総事業費		900 百万円	1,330 百万円	2,090 百万円
工 期		H29～R3	H29～R8	H29～R12
経済 効 率 性	評価基準年	H28	R3	R7
	費用	986 百万円	1,457 百万円	2,149 百万円
	建設費	986 百万円	1,457 百万円	2,149 百万円
	便益	1,529 百万円	1,736 百万円	2,472 百万円
	走行経費節減効果	996 百万円	1,109 百万円	1,413 百万円
	作物生産効果	401 百万円	450 百万円	783 百万円
	営農経費節減効果	89 百万円	102 百万円	171 百万円
	その他※	43 百万円	75 百万円	105 百万円
B/C		1.6	1.2	1.2

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、国産農産物安定供給効果、品質向上効果、維持管理費節減効果

（3）これまでの計画変更等の概要

（令和3年度再評価）

・区画整理にあたり、担い手の新規参入や高収益作物導入に必要な区画形状の検討に日数を要したため計画期間を令和8年度まで延長した。

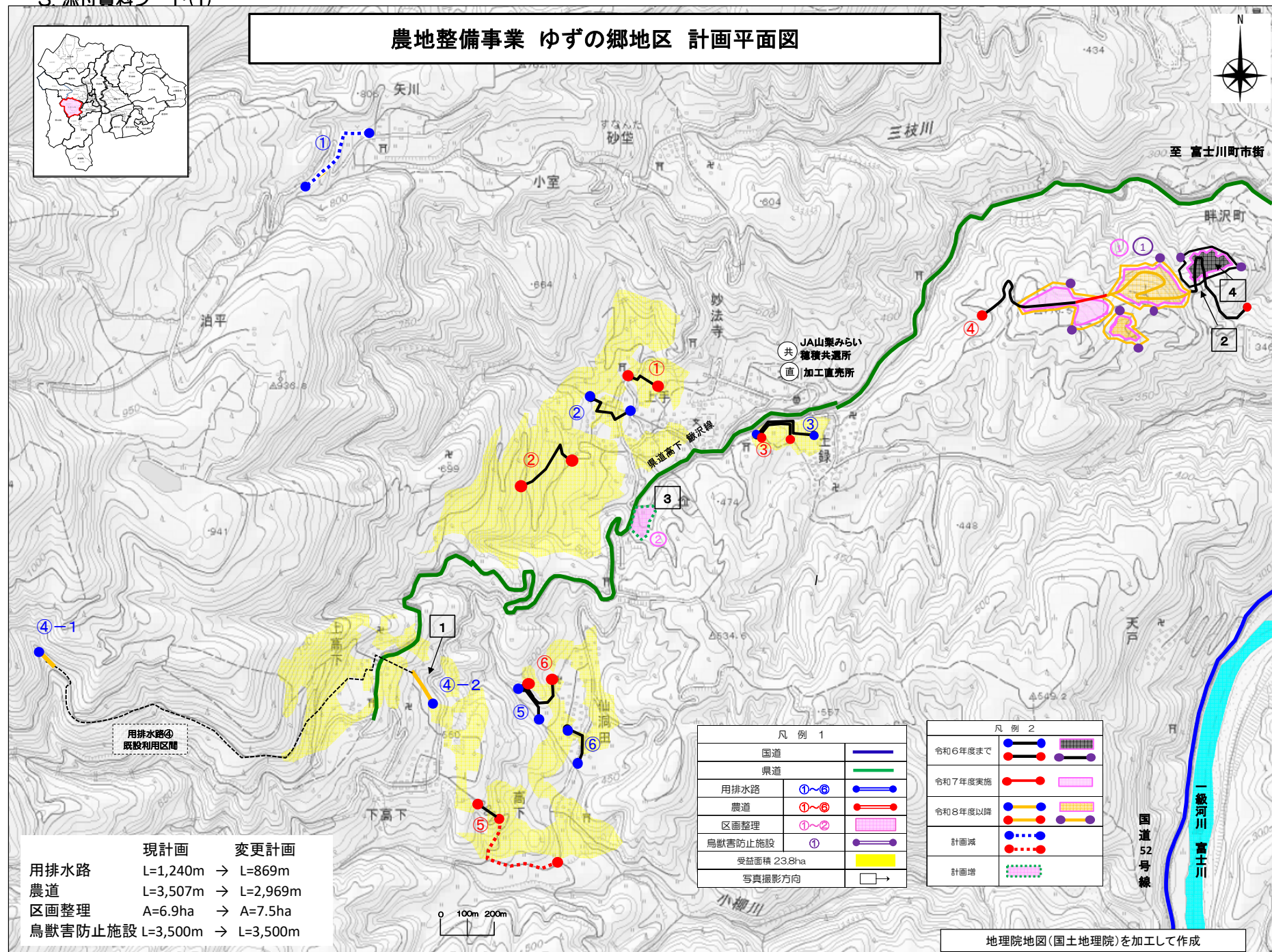
・高収益作物導入や農作業の安全に配慮して、ほ場の区画拡大かつ勾配を緩やかにしたことで切盛土量が増加した。また、ほ場へのアクセスに配慮した農道線形としたことで延長が増えたことによる事業費の増。

・整備内容の変更にあわせ、より効果的な線形に鳥獣害防止施設の設置位置を変更したことで整備延長が増えたことによる事業費の増。

	当初	→	現計画
総事業費	900百万円		1,330百万円
計画期間	5年延長		
事業概要	農道	L=3,265m	→ L=3,507m
	区画整理	A=6.2ha	→ A=6.9ha
	鳥獣害防止施設	L=2,500m	→ L=3,500m

評価シート（２）																																																											
（４）事業進捗状況及び見込み							（５）環境負荷等への配慮																																																				
①進捗率 別表のとおり。 R7年度進捗率（現計画）98.1%→（実績）90.8%→（変更計画）66.7% ②進捗率実績が計画と相違している理由 農道において、現地測量の結果を踏まえ、急峻な地形条件に適応した構造物設計の検討に時間を要した。 ③総事業費の変更内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">用排水路</td> <td>94百万円 増</td> <td>水路計画箇所が想定以上に軟弱であり、崩落の危険性が高ことから、土留構造物を追加したことによる事業費の増。</td> </tr> <tr> <td>52百万円 減</td> <td>相続等による用地取得に時間を要するため本事業の整備を一部見送ったことによる事業量の減。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">農道</td> <td>495百万円 増</td> <td>急峻な地形条件に適応した道路構造物を実施したことによる事業費の増。</td> </tr> <tr> <td>72百万円 減</td> <td>相続等による用地取得に時間を要するため本事業の整備を一部見送ったことによる事業量の減。</td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>295百万円 増</td> <td>新たなゆすの需要が生まれ、生産拡大のため新たな工区を追加したことによる事業量の増。</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>760百万円 増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ④事業期間の変更理由及び進捗予定 新たに追加した区画整理工区について、換地計画の検討や地権者との合意形成に時間を要していたことや整備に伴う協議により進捗が遅れていた。しかしながら、換地計画が確定し地元との調整及び関係機関との協議が整ったことから、残路線についても計画的かつ効率的な実施に努め、工期を4年延長し、令和12年度の完了を目指す。 ⑤今後の事業執行における留意点 なし							変更工種等	事業費増減	変更理由	用排水路	94百万円 増	水路計画箇所が想定以上に軟弱であり、崩落の危険性が高ことから、土留構造物を追加したことによる事業費の増。	52百万円 減	相続等による用地取得に時間を要するため本事業の整備を一部見送ったことによる事業量の減。	農道	495百万円 増	急峻な地形条件に適応した道路構造物を実施したことによる事業費の増。	72百万円 減	相続等による用地取得に時間を要するため本事業の整備を一部見送ったことによる事業量の減。	区画整理	295百万円 増	新たなゆすの需要が生まれ、生産拡大のため新たな工区を追加したことによる事業量の増。	合 計	760百万円 増		なし （６）コスト縮減の可能性 なし （７）代替案立案の可能性 なし （８）所管部の今後の方針 継続 （見直し継続）・その他（ ） （理由） 地域からの整備要望も強く、ゆすの生産拡大に必要な基盤整備を速やかに実施することとし、事業を継続して、令和12年度の完成を予定している。																																	
変更工種等	事業費増減	変更理由																																																									
用排水路	94百万円 増	水路計画箇所が想定以上に軟弱であり、崩落の危険性が高ことから、土留構造物を追加したことによる事業費の増。																																																									
	52百万円 減	相続等による用地取得に時間を要するため本事業の整備を一部見送ったことによる事業量の減。																																																									
農道	495百万円 増	急峻な地形条件に適応した道路構造物を実施したことによる事業費の増。																																																									
	72百万円 減	相続等による用地取得に時間を要するため本事業の整備を一部見送ったことによる事業量の減。																																																									
区画整理	295百万円 増	新たなゆすの需要が生まれ、生産拡大のため新たな工区を追加したことによる事業量の増。																																																									
合 計	760百万円 増																																																										
○別表-進捗率（事業費ベース） 算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>年度</th> <th>※R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現</td> <td>計画</td> <td>53.2</td> <td>62.5</td> <td>73.6</td> <td>83.7</td> <td>98.1</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>53.1</td> <td>62.5</td> <td>73.6</td> <td>83.6</td> <td>90.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">変更計画</td> <td>66.7</td> <td>73.6</td> <td>80.4</td> <td>87.3</td> <td>94.1</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> *再評価年度 *R7年度の実績は見込み														年度	※R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	現	計画	53.2	62.5	73.6	83.7	98.1	100.0					実績	53.1	62.5	73.6	83.6	90.8						変更計画						66.7	73.6	80.4	87.3	94.1	100.0
	年度	※R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																																																
現	計画	53.2	62.5	73.6	83.7	98.1	100.0																																																				
	実績	53.1	62.5	73.6	83.6	90.8																																																					
変更計画						66.7	73.6	80.4	87.3	94.1	100.0																																																

3. 添付資料シート(1)



事業費増額説明資料

1 用排水路



法面が想定以上に軟弱であり、崩落の危険性が高いことから、土留構造物を追加したことによる事業費の増。

変更前

500

変更後

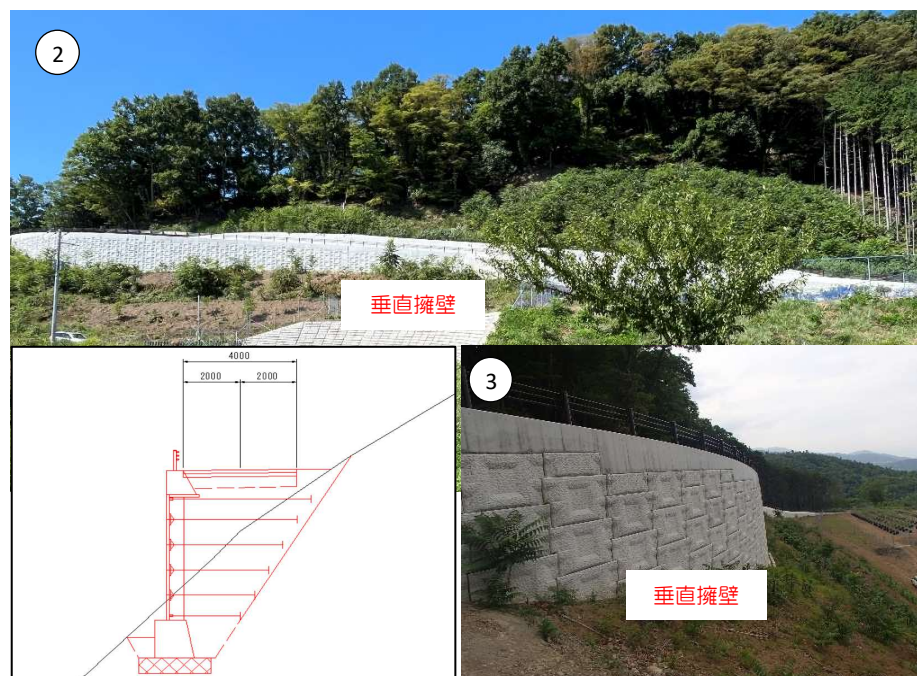
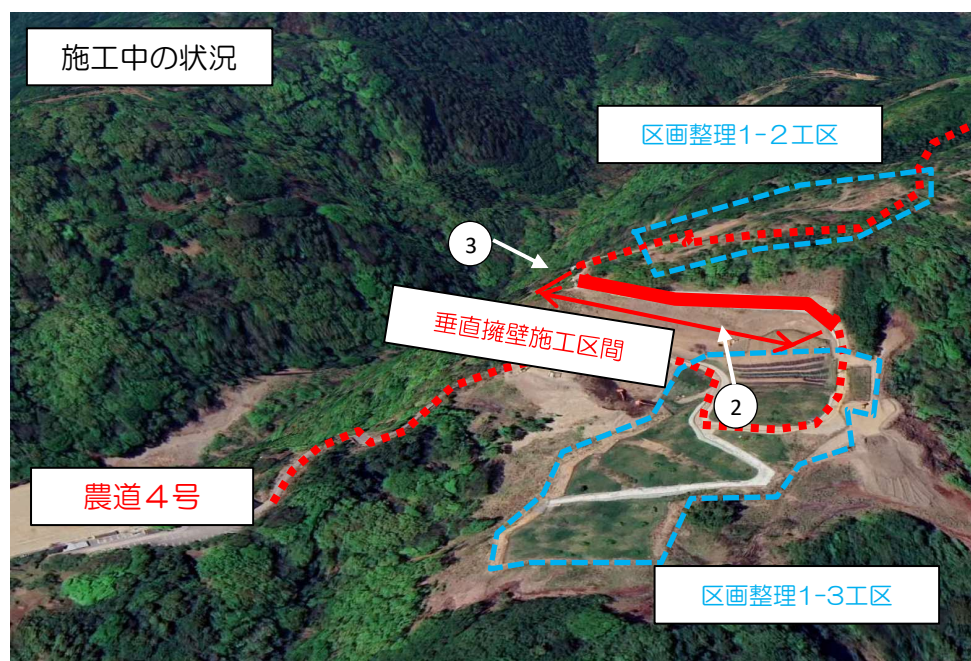
500

3. 添付資料シート(3)

事業費増額説明資料

2 農道

中山間地の農地と農地を結ぶ農道の開通にあたり、急峻な地形条件に適応した道路構造物を整備したことによる事業費の増。



3. 添付資料シート(4)

事業費増額説明資料

近年、「穂積のゆず」が広く認知されるようになってきており、大手コンビニチェーンとのコラボ商品が発売されるなど、新たなゆずの需要が生まれている。今後の生産体制の強化に向けて、営農条件の悪い農地を埋土して一枚のほ場に区画拡大することにより生産性の向上及びゆずの生産拡大を図る。

③ 区画整理



コラボ商品の数々



3. 添付資料シート(5)

効果説明資料

4 区画整理・鳥獣害防止施設

着手前

整備後

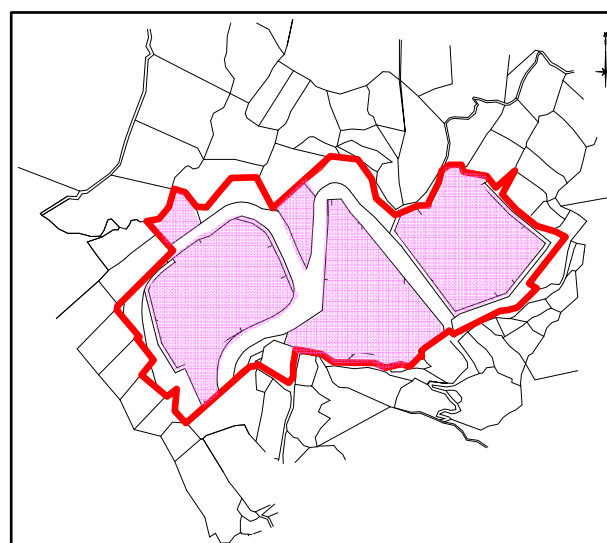


山林に生息するシカ、イノシシ、サルに農用地が荒らされ、営農意欲が低下し、耕作放棄地が増加していた。

イノシシに踏み荒らされた畑



不整形な農地を整形することで、営農条件の改善が図られ機械化が進み、生産性が向上した。
また、鳥獣害防止施設の整備により、野生鳥獣による被害を防止し、農作物の安定生産が可能となった。



工区面積：A=1.1ha

(事業前)
区画数：36区画(17名)



(事業後)
区画数：5区画
(担い手農業者：1法人)

営農条件の改善により、農地中間管理機構を通じた担い手農業者への貸借が進み、農地の集積が図られた。

3. 添付資料シート(6)

効果説明資料

6次産業化の状況

ゆず収穫状況



ゆず加工状況



加工品



地域では生産者が設立した「日出づる里活性化組合」が、特産のゆずを活用した6次産業化を積極的に進めており、新たな需要が生まれ販路も拡大し、生産者の収益向上や継続的な地域農業の発展が期待される。

道の駅 富士川



道の駅 富士川には、地区内で栽培された農作物に加え、それらの加工品が取り揃えられている。

中部横断自動車道の全線開通により、関東や静岡方面からの観光客の増加が見込まれる。

ゆずの里まつり



ゆずの販売



名物 ゆずピラミッド

地域の特産品であるゆずの振興を目的として、毎年「ゆずの里まつり」が開催され、もぎたてのゆずやゆずを使った加工品が並び、県内外から多くの来場者が訪れている。

今後、「穂積のゆず」が今よりも認知されることにより、更なる地域の活性化が期待される。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H29	99,000	測量設計一式、農道 L=125m	4.7
H30	237,659	用排水路 L=427m、農道 L=718m	16.1
R1	281,600	用排水路 L=117m、農道L=388m	29.6
R2	110,000	区画整理 A=1.7ha、農道 L=280m	34.8
R3	88,000	農道L=186m	39.1
R4	143,000	農道L=147m、鳥獣害防止施設L=579m	45.9
R5	171,600	用排水路L=198m、農道L=220m	54.1
R6	154,000	農道L=103m	61.5
R7	110,000	区画整備A=1.9ha、農道L=178m	66.7
R8	143,000	区画整備A=0.5ha、農道L=150m	73.6
R9	143,000	用排水路L=127m、区画整備A=1.4ha、農道L=150m	80.4
R10	143,000	区画整備A=1.4ha、農道L=120m、鳥獣害防止施設L=1,000m	87.3
R11	143,000	区画整備A=0.6ha、農道L=104m、鳥獣害防止施設L=1,000m	94.1
R12	123,141	農道L=100m、鳥獣害防止施設L=921m	100.0
合計	2,090,000		